

大東市家庭教育支援事業

『おうちの方が元気になる！
笑顔あふれる家庭教育の充実をめざして』



大東市教育委員会

1

大東市の状況



東西7.5km、南北4.1kmで、総面積は18.27km²。

大阪府の東部、河内地方のほぼ中央に位置する。織田信長に先駆け畿内統一を果たした戦国武将の三好長慶が有名。

人口 121,337人
56,236世帯

小学校 12校 児童数 5,989人
中学校 8校 生徒数 2,851人

(平成30年4月1日現在)



2



のぎきまいり



イルミネーション



御領水路

3

経緯

学力向上を図るため、学力向上強化プロジェクトチームを設置するなど学力強化への取組を実施



保護者が安心して家庭教育を行えるようサポートする支援体制の構築の必要性が高まる。



家庭教育と学校教育の担い分けによる学校現場の負荷軽減により、集中できる環境を充実し、学力向上を図る。



大東市教育大綱（平成27年12月策定）において家庭教育支援事業を重点大綱として位置づけ、平成28年度から事業実施

⇒**教育委員会事務局学校教育部に家庭教育支援チームを創設**

4

趣旨・目的

子どもの健やかな育ちの基盤であり、すべての教育の出発点である家庭において、保護者が安心して子育ておよび教育を行うための支援（家庭教育支援）を行うことにより、家庭における教育力の向上を促進する。そして、学校・家庭・地域社会がそれぞれの教育の役割を十分に果たしながら相互に連携し、調和のとれた教育の実現、子どもの健やかな成長に必要な教育環境の充実により、学力の向上を図ることとする。



5

課題から逆算した組織化

①縦割り行政の解消

生涯学習部門、福祉・医療部門を巻き込んだ横断的な組織として家庭教育支援チームづくりを行いました。

②予算の確保

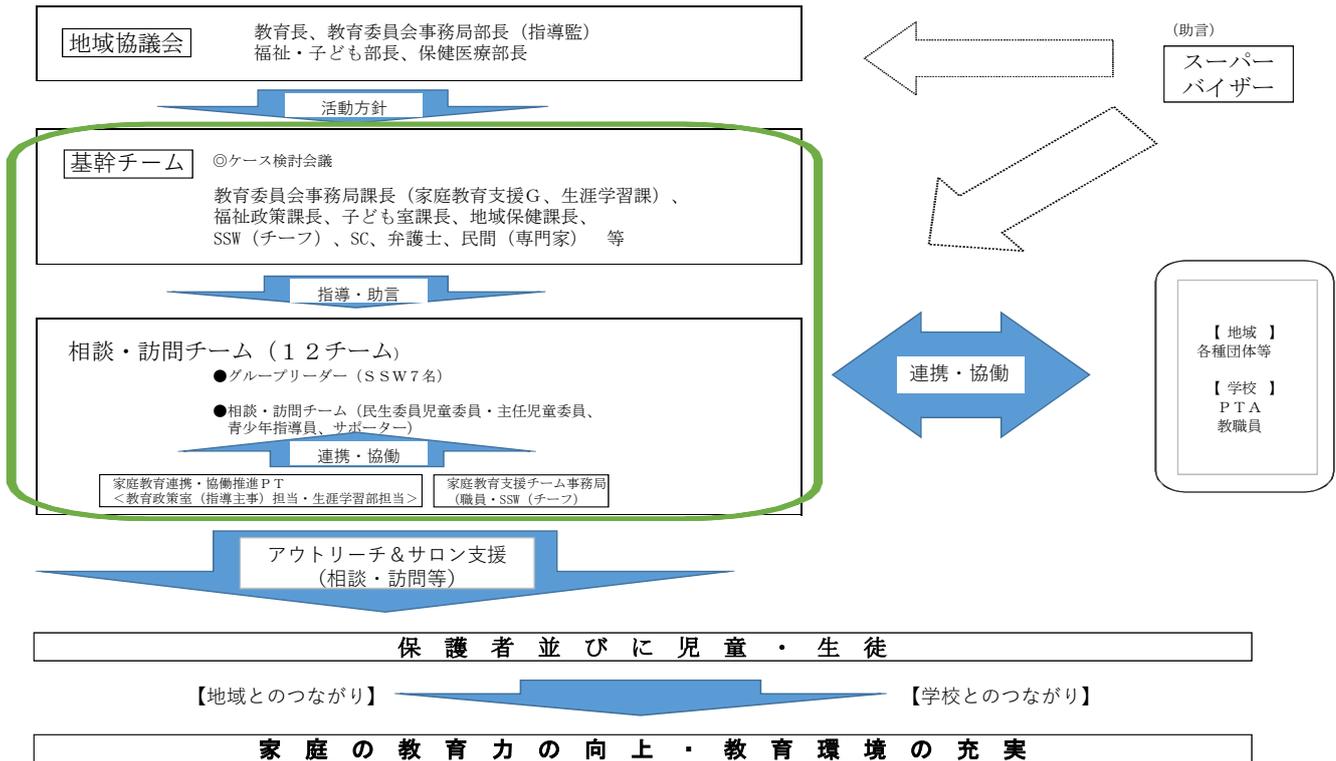
補助金等があるから事業を行うのではなく、市長のリーダーシップのもと市議会の理解も得まして市単費でも実施する予算を確保し、そのうえで補助金など歳入の確保に努める。

③個人情報の取扱い

考えられる個人情報の取扱い範囲を考え、個人情報保護審査会に諮問し、個人情報の取扱いに関する特例の答申をいただき、個人情報の取扱いに関する例外事項を規定しました。

6

大東市家庭教育支援チームの体制図



7

実施体制

- ① 地域協議会(教育長、教育委員会事務局部長、福祉・子ども部長、保健医療部長)

基幹チームおよび相談・訪問チームの活動内容を把握し、当該活動による効果を検証するとともに、家庭教育支援に係る長期的な視野に立った基本的方向性および年度ごとの活動方針を定める。

- ② 基幹チーム(教育委員会事務局課長、福祉政策課長、子ども室課長、地域保健課長、SSW等)

基幹チームは、地域協議会の定める活動方針に基づき、相談・訪問チームの支援活動について、助言および指導を行う。

- ③ 相談・訪問チーム

市立小学校区を単位とするグループで組織し、当該児童の保護者に対して家庭訪問を行うなど保護者へのアウトリーチによる支援活動を行う。

8

スーパーバイザー

家庭教育支援事業の推進のため、地域協議会、基幹チーム、相談・訪問チームに対し、指導・助言をしていただくスーパーバイザーを2名招聘。

- ・山野則子（大阪府立大学教授）
- ・水野達朗（教育委員・（一社）家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事）

家庭教育連携・協働推進プロジェクトチーム

相談・訪問チームと連携・協働し、家庭教育支援の推進を図る。

- ・家庭教育支援グループ 4名（うち1名はSSW）
- ・指導主事1名
- ・生涯学習課2名

9

特徴

①小学1年生全家庭訪問の実施

市内全小学校区（12校区）に相談・訪問チームを設置

チーム員：民生委員児童委員・主任児童委員・青少年指導員
市民サポーター 157人（平成30年10月現在）

面：すべての児童・生徒の家庭への訪問支援

点：対象者を絞り込んだ訪問支援

帯：限定した学年の児童・生徒の家庭への訪問支援 ➡◎

10

特徴

②福祉部局との連携

- ・家庭教育支援チーム内の地域協議会・基幹チームに福祉部局も参画し、横断的に対応できる体制を構築しました。
- ・相談・訪問チームのリーダーを務めるSSWが福祉部局所管である要保護児童対策地域協議会やCSW協議会に参加・参画し、情報収集・意見交換を行い、連携を密にしている。
- ・平成30年8月より、妊娠期からおおむね18歳になるまでの子育てに関する情報相談窓口を一本化し、切れ目のない相談支援を行うため、教育・福祉・保健部局が連携し子育て世代包括支援センター「ネウボランドだいとう」を開設しました。

③学校教育部が家庭教育支援を所管

- ・学校との連携を強化し、学力の向上を図る。
- ・家庭教育支援グループの設置

11

活動内容

①小学1年生全家庭訪問の実施

なぜ小学1年生を対象としたか？

- ・幼児教育から学校教育へ環境が大きく変わる時期で、不安や困りごとのある保護者が多い。
- ・9年間の義務教育課程の早い段階から学校や保護者間、地域とのつながりづくり、家庭の孤立等の未然防止を図る。
- ・就学前は、訪問や講演会の開催など多くの支援がある。
- ・学校、家庭、地域の教育における担い分けを行う上で家庭の教育力の向上を図る。
- ・ある程度悩みや困りごとを想定することができ、対応しやすい。

12

活動内容

- 小学校区単位で編成した相談・訪問チーム（スクールソーシャルワーカー・民生委員児童委員・青少年指導員・市民サポーター）による小学1年生全家庭訪問を実施
（H30は1学期と2学期に全家庭訪問。3学期は、1・2学期ともに会えなかった家庭への訪問を行う。）
- 「いくカフェ」の案内、参加促進
- 子育てや教育についての困りごとなど保護者の話を傾聴



13

家庭訪問準備

①小学校入学説明会における事業説明

小学校入学説明会において事業内容および家庭教育支援チームの活動紹介を行い、家庭訪問対象である保護者への周知を図る。

②小学校入学式における相談・訪問チーム員の紹介

家庭訪問対象者である保護者が一堂に会する入学式において相談・訪問チーム員を紹介することにより、安心して訪問を受け入れてもらい、円滑な家庭訪問の実施を図る。

③家庭訪問実施の周知徹底

入学式や家庭訪問実施前に学校を通じてのチラシ配付や広報だいつうへの記事掲載などにより、保護者に家庭訪問実施の周知徹底を図る。

14

家庭訪問準備

④相談・訪問チーム連絡会の開催

相談・訪問チーム員であるSSW・民生委員児童委員・主任児童委員・青少年指導員が家庭訪問の円滑実施に向け、チーム全体及び小学校区単位のチームで手法検討・意見交換・意思疎通を図る。

平成29年度：70回開催

平成30年度：65回開催【平成30年12月末現在】

⑤相談・訪問チーム研修会の開催

家庭訪問を実施する相談・訪問チーム員のスキルアップ及び拡充を図る。

(平成30年度出前養成講座を5回実施 51名増員)

⑥小学1年生担任との事前打ち合わせ

チームリーダーを務めるSSWが小学1年生担任と保護者に会いやすい時間帯など事前に打ち合わせを行い家庭訪問の円滑実施を図る。

15

活動内容

②気軽につどうことができる「いくカフェ」の開催

・対象は、全小学校の家庭（小学1年生の保護者には家庭訪問により案内）

・地域の公民館や公共施設等を活用して開催

(学校での開催や地域イベントとの共催)

・内容は、保護者がお茶などを飲みながら気軽に子育てなどについて話すことのできるほっと一息つける場所の提供（子ども連れでも参加可能）

(親子工作や学習会、読み聞かせ、ドッジボールなど子どもが楽しむことができるメニューも追加して実施)



16

相談・訪問チーム員養成講座

目的：相談・訪問チーム員養成及び現チーム員の資質向上を図る

	開催日時	テーマ	内容	備考（講師名）
①	平成31年 1/25 (金)	家庭教育の現状と課題	核家族の孤立化 について	山本 智也 (大阪成蹊大学教育学部教授)
②	1/31 (木)	基本的人権と守秘義務	守らなければならない 基本的人権や守秘 義務の理解と責任	笠原 麻央 (長野法律相談事務所 弁護士)
③	2/5 (火)	保護者との関わりについて	傾聴とカウンセリン グマインド	河井 美砂 (大阪府教育委員会スクール カウンセラースーパーバイザー)
④	2/12 (火)	訪問型家庭教育支援の目的と 家庭教育支援チームの活動について	大東市での取組みの 成果・課題 家庭教育支援チーム の活動の理解	田口 誠 (大東市教育委員会教育政策室課長) 大東市スクールソーシャルワーカー
⑤	2/20 (水)	家庭教育支援の課題解決について	訪問型家庭教育支援 のポイント	三川 俊樹 (追手門学院大学心理学部教授)



家庭教育支援子育て講演会

目的：家庭教育の重要性について市民の理解と関心を高める機会とする



家庭教育支援 子育て講演会

子どもと生きる 今を楽しみましょう

～さあ、いっしょに心のストレッチ～

PROFILE
テレビアニメ『おれい!アンパンマン』のバツコさんや、『嵐の音楽道』のバツコさんなどでもおなじみの声優であり、歌手・脚本家。アニメーションや漫画の吹き替えバツコちゃんも、番組パーソナリティの他、おやもろこしをテーマにした物語を執筆し、自ら絵巻の活動を展開。企業向けには従業員研修セミナーなども行っている。私生活では、20代の娘を持つシングルマザー。講演会の大きなテーマは「心のストレッチ」。子供と向き合う、改めて考えなくてはならないこと、私生活でも実践は難しい中で、おなじみの声優バツコさんという佐久間レイさんというストーリーや、講演会を通して伝えている。

【おれい!アンパンマン】のバツコさんの声
「彼女の言葉」が少く、でもおもしろい

【彼女の言葉】
でもおもしろい

きくま
佐久間 レイ (声優・脚本家・歌手)

定員 300名
先着順・申込不要・入場無料

対象 子育て中の保護者
子どもに関わる方
その他関心のある方

申込制 12月7日(金)までの申込み

2018 12月15日(土)
10:00～11:30 (会場9:30予定)

**大東市立市民会館 2階
キラリエホール**
(大東市曙町4-6)

申込料 20名
12月15日(土)までの申込み

お問い合わせ先
教育支援課
経理 072-800-7760(直通)
総務 072-872-2941

主催：大東市教育委員会

小学1年生全家庭訪問（1学期）

- ・ 目的 幼児教育から学校教育へと大きく環境が変わる小学1年生の全家庭を訪問し、家庭の孤立の未然防止や地域とのつながりづくりを行う。

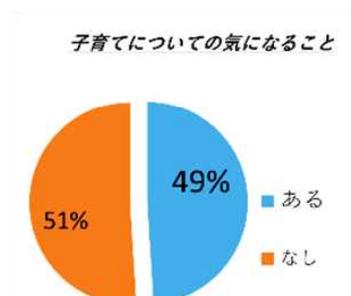
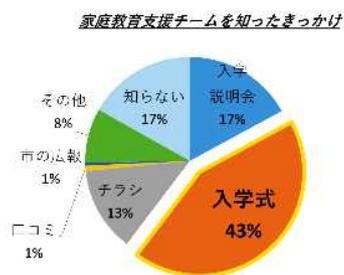
【平成29年度】

実施期間	6月～8月
訪問件数	976件（100%）
会えた件数	869件（89.0%）
チーム認知度	70.6%

【平成30年度】

実施期間	6月～8月
訪問件数	912件（100%）
会えた件数	842件（92.3%）
チーム認知度	75.4%

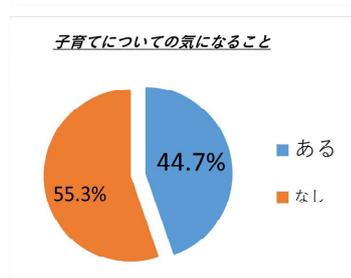
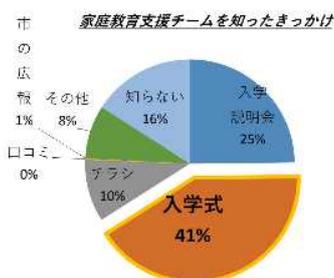
【平成29年度】



子育てについて気になること

- ・ 兄弟げんか
- ・ 学習面
- ・ 対人関係
- ・ 言うことを聞かない
- ・ 発達課題

【平成30年度】



子育てについて気になること

- ・ 兄弟げんか
- ・ 学習面
- ・ 対人関係
- ・ 言うことを聞かない
- ・ 発達課題

小学1年生全家庭訪問（2学期）

- 目的 幼児教育から学校教育へと大きく環境が変わる小学1年生の全家庭を訪問し、家庭の孤立の未然防止や地域とのつながりづくりを行う。

【平成29年度】

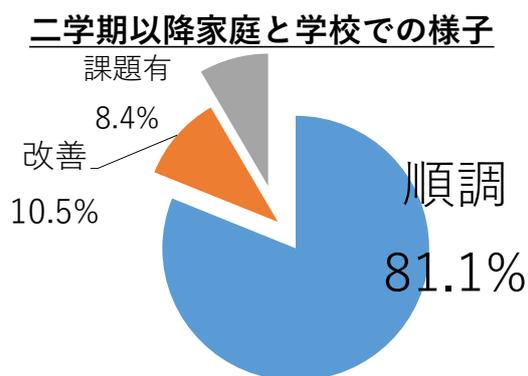
実施期間	9月～12月
訪問件数	974件（100%）
会えた件数	797件（81.8%）

【平成30年度】

実施期間	9月～12月
訪問件数	908件（100%）
会えた件数	836件（92.1%）

21

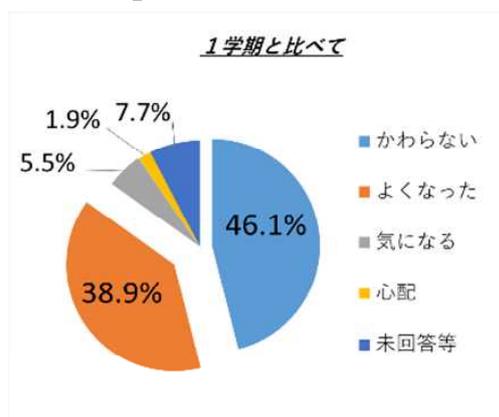
【平成29年度】



子育てについて気になること

- ・兄弟げんか
- ・学習面
- ・ゲーム時間
- ・対人関係
- ・言うことを聞かない
- ・食事について

【平成30年度】



子育てについて気になること

- ・兄弟げんか
- ・学習面
- ・ゲーム時間
- ・対人関係
- ・言うことを聞かない
- ・食事について

22

いくカフェ (1学期)

- ・ 目的 身近な地域で保護者が気軽に子育てについてなど話ことができほっと一息つける場所を提供し、地域や保護者同士のつながりづくりを行う。

【平成29年度】

実施期間 5月～8月

実施箇所数 12箇所 (全小学校区)

参加者 保護者：89人 子ども：165人 チーム員：65人

【平成30年度】

実施期間 6月～8月

実施箇所数 11箇所 (合同開催有)

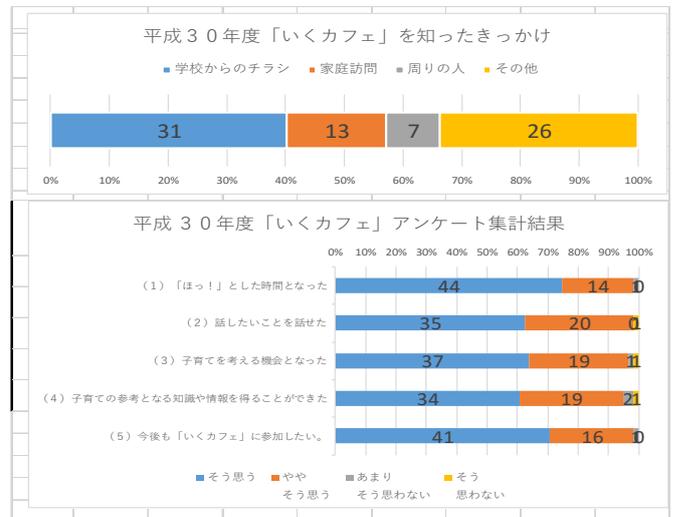
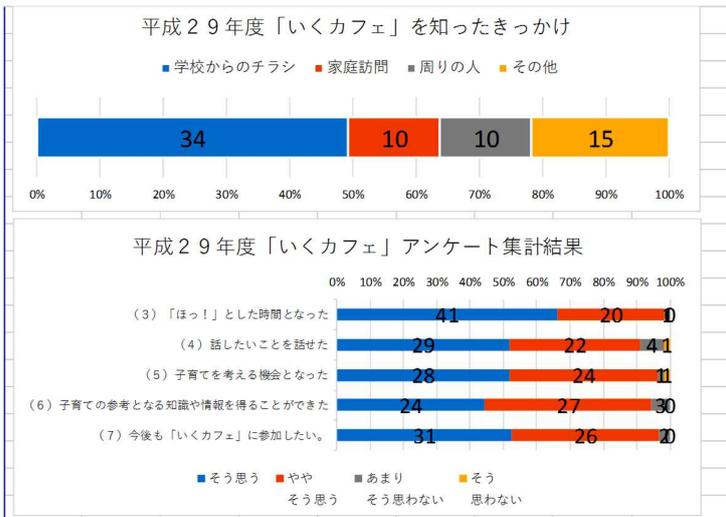
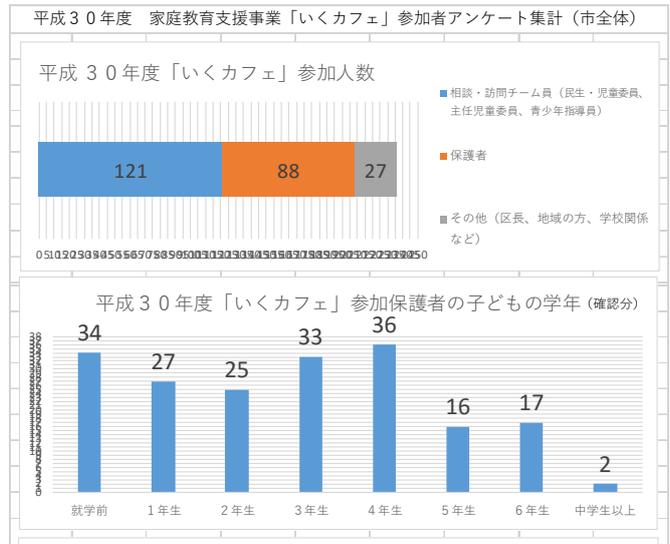
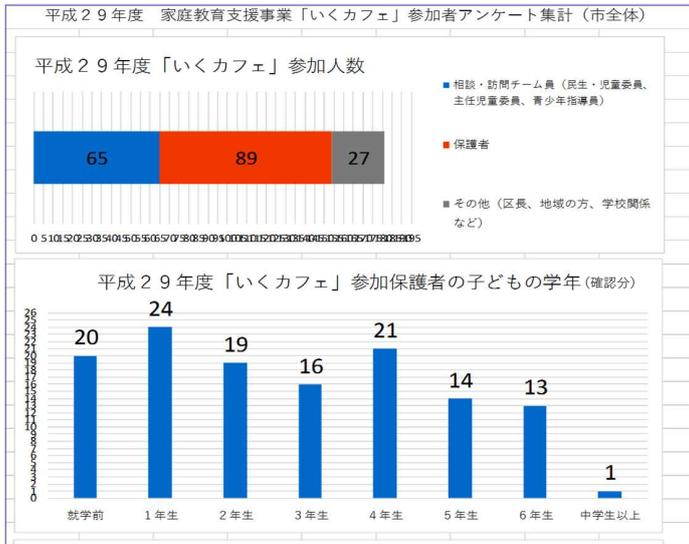
参加者 保護者：88人 子ども：190人 チーム員：121人



23



24



いくカフェ（2学期）

- 目的 身近な地域で保護者が気軽に子育てについてなど話すことができほっと一息つける場所を提供し、地域や保護者同士のつながりづくりを行う。

【平成29年度】

実施期間 10月～12月

実施箇所数 10箇所（合同開催有）

参加者 保護者：61人 子ども：266人 チーム員：42人

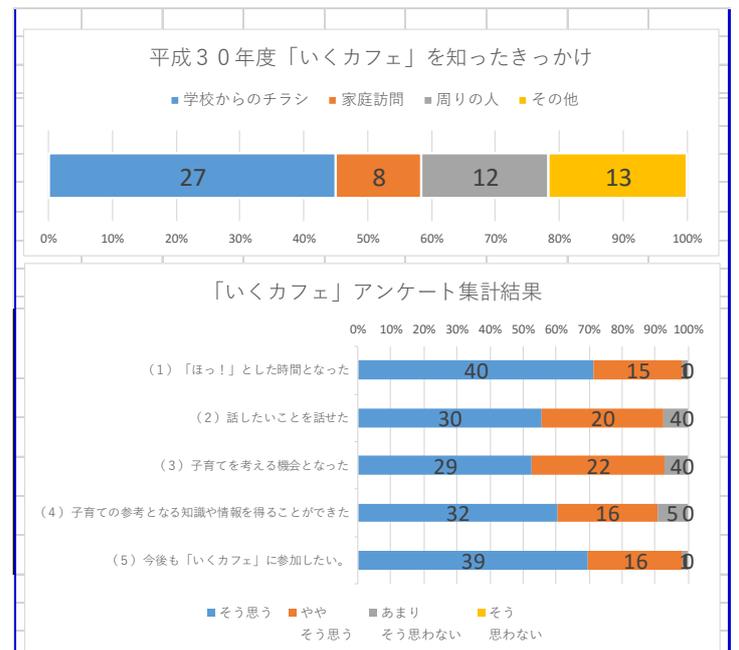
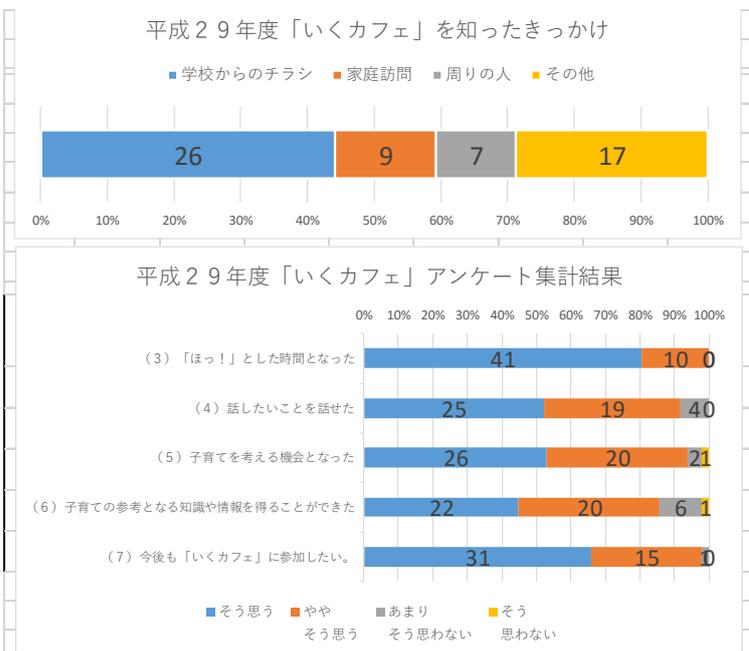
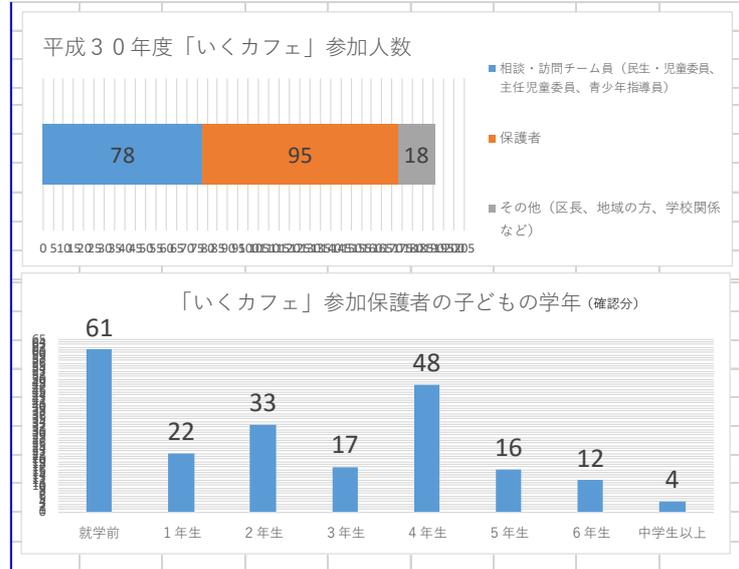
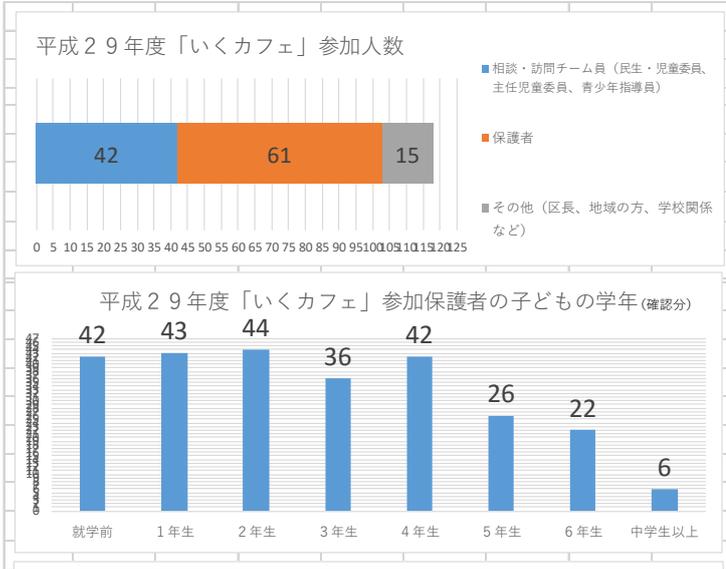
【平成30年度】

実施期間 10月～12月

実施箇所数 11箇所（合同開催有）

参加者 保護者：95人 子ども：443人 チーム員：78人





成果

- ・小学1年生全家庭を訪問できた。
（複数回訪問等の工夫により保護者に会えた件数が増加）
- ・保護者と地域やSSWとのつながりができた。
- ・家庭の状況に関する情報量が高まった。
- ・学校、家庭、地域の良好な関係づくりにつながった。
- ・入学説明会、入学式への参加によるチーム認知度が上昇した。
- ・不在家庭などからの問い合わせ件数が増加した。
（保護者の関心の高まり）
- ・学校外での児童の様子により気になる児童を発見することができ、
家庭の支援につながった。
- ・保護者の話を丁寧に聞き取ることができ、保護者の悩みや不安の軽減が図れた。
- ・内容を工夫したことによりいくカフェの参加者が増加した。
- ・学校との連携や家庭訪問により、課題を抱える家庭への個別支援につながった。

31

課題

- ・家庭訪問で保護者に会えなかった家庭への対応
- ・チーム員の増員拡充
チーム員のバラツキの解消・当事者性のチーム員の増員拡充
- ・いくカフェの開催日程、回数、場所、内容の工夫が必要
- ・いくカフェに参加しやすいような広報・周知方法の工夫が必要



32

今後について

- ・ 相談・訪問チーム員養成講座の開催
- ・ 全体講演会の開催
- ・ 小学1年生家庭訪問回数の増加（学期ごと）
- ・ 家庭訪問を行う帯（学年）の増加
- ・ いくカフェ開催回数の増加
- ・ 公民連携によるいくカフェの開催

33

取り組む際の留意点・アドバイス

- ・ 地域によっての特徴がある。そのため、地域住民との話し合いを行って進めていく必要がある。
 - ➡ チーム会議を重ね、より地域の特性にあった家庭訪問、いくカフェの運営を行った。
- ・ 様々な手法で事業周知を行っていく必要がある。
 - ➡ 広報・市報に加え、入学説明会、入学式での説明を行った。

34

大東市版ネウボラの概要

35

大東市版ネウボラの実施について

大東市版ネウボラ（ネウボランドだいとう）の実施

- ・ 事業開始日 平成30年8月1日
- ・ 場所 大東市保健医療福祉センター（すこやかセンター）3階
- ・ 業務内容
 - ① 妊娠・出産期～就学期における子育てに関する相談支援
 - ② 母子健康手帳・妊婦健診受診券の交付
 - ③ 支援プランの作成・管理
 - ④ 地域子育て資源の把握・情報提供
 - ⑤ 新生児訪問・はろーベビィ訪問
- ・ 相談時間 平日 午前9時～午後5時
- ・ 相談方法 窓口、電話の他、市内子育て施設への出張相談を予定



36

基本コンセプト

妊娠・出産期から子育て期、就学期に至る各ステージにおいて、子育て家庭の抱える様々な不安・悩みに継続的に寄り添い、切れ目のない支援を提供することにより、「子育てしやすいまち大東」の実現を目指す

大東市版ネウボラの特徴

- ① 母子保健、子育て支援、学校教育の連携による、妊娠・出産期から子どもが概ね18歳になるまでの幅広い期間における包括的な支援の実施
- ② ワンストップサービスの実現による、途切れのない相談支援の実現
- ③ スクール・ソーシャル・ワーカーの配置による、就学年齢への対応

37

大東市版ネウボラの主な役割

○母子保健事業

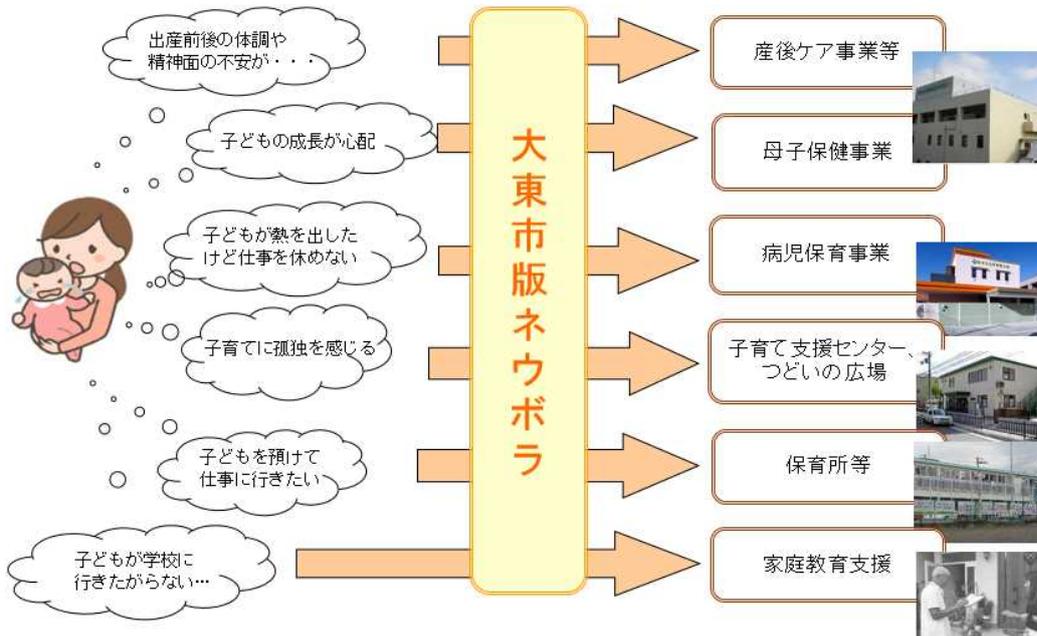
主な役割	配置職員
① 母子健康手帳、妊婦健診受診券の交付	・保健師 1名
② 各家庭毎の支援プラン(マタニティライフサポートプラン)の作成	・助産師 1名
③ 妊婦訪問、新生児訪問	・臨床心理士 1名

○子育て支援事業

主な役割	配置職員
① 利用者の個別ニーズの把握、情報提供	・保育士等 3名
② 地域子育て情報の収集、整理、発信	・SSW 1名
③ はろーベビィ訪問	
④ スクールソーシャルワーカーによる就学年齢児童に関する相談支援	

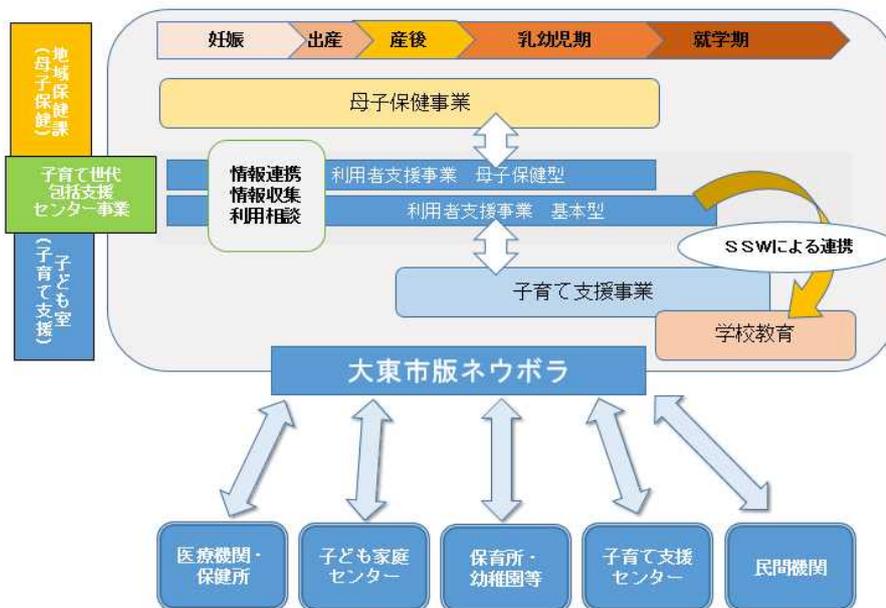
38

大東市版ネウボラの実施について

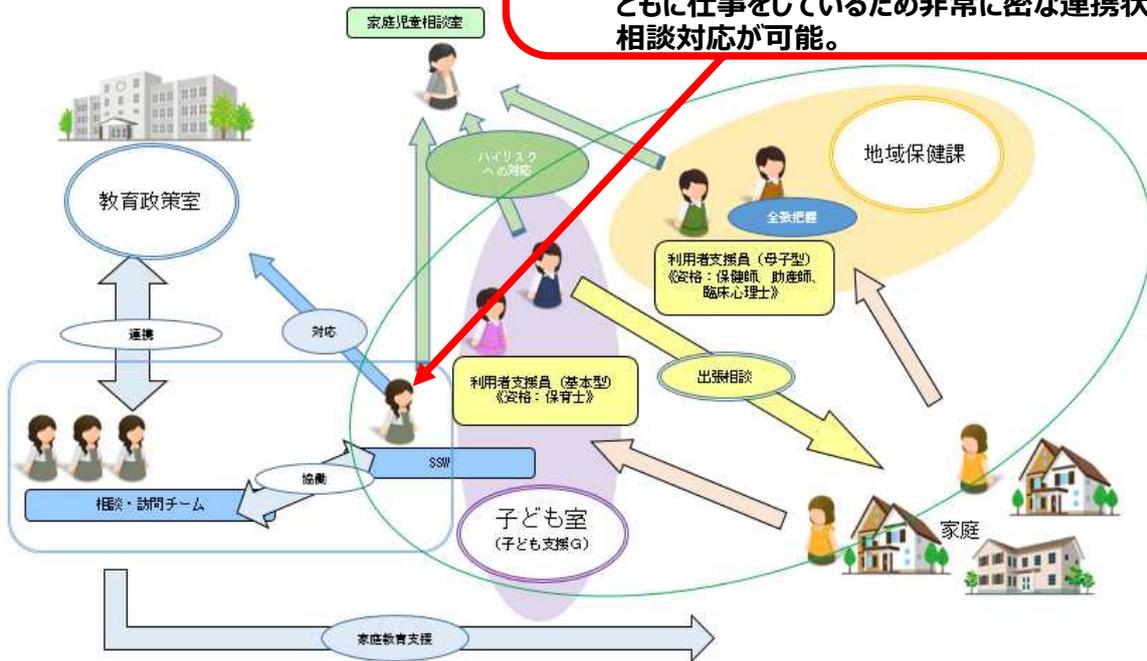


大東市版ネウボラの実施について

妊娠・出産から子育て・就学期までの切れ目のない支援の実施



大東市版ネウボラの実施体制



◆ネウボラにSSW（家庭教育支援員）を常時1名配置し、就学年齢を含めた対応。（市内計7名のSSWが交代で配置）
 ⇒ 同じフロアに保健師、保育士、SSW等が同席。ともに仕事をしているため非常に密な連携状態で相談対応が可能。

その他の取組み

①学力向上推進事業

- ・ 学力向上ゼミの開設 → 新聞に記事掲載あり
- ・ 中学校に大東・まなび舎を開設
- ・ 共通到達度確認テストの実施



その他の取組み

②言語活動推進事業

言語環境の充実を図り、「言語力向上」と「豊かなこころ」の育成を図る。

- ・小中学生弁論大会の開催
- ・学校図書館司書の配置

(読書活動の推進と充実、授業における活用)



43

その他の取組み

③授業力向上チームによる訪問指導

授業力向上チームの学校訪問による教員への指導により、教員の質的授業力向上、ひいては子どもの学力向上に資する。

④教育研究推進事業

「学び合い」(協同学習)の手法を生かした授業研究の推進及び小中連携の推進を図る。

●教育研究フォーラムの開催

市内全教職員が一堂に会し、市の教育活動の方向性、教育研究の成果と課題を共有する。

⑤学校支援事業

教育課題とニーズに応じて地域をはじめとした外部人材を積極的に活用し、学力や学校力の総合的な向上を図る。

44

その他の取組み

⑥英語教育推進事業

- ・「英語検定」助成（Daito English Trial）
「英検準2級」「英検2級」受験を助成し、中学校3年生時に実践的な英語力を身に付けた生徒の育成をめざす。
 - 大東プレ検定の実施
- ・小学校英語教育の推進
小学校段階からの英語の4技能の育成を図り、日常に即した表現に基づいた府作成教材を活用して、英語を使おうとする子どもを育成する。
 - 大阪府公立小学校英語学習6か年プログラム「Dream」教材を使用